

目標達成計画

作成日: 令和2年9月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	認知症の進行、身体機能の低下が見られると、ケア内容については検討、対応しているが、介護員からの視点が大きい。本人様の心理面や本人本位なのかは疑問である。	本人様に合ったケアを考える前に本人様の心理面を考え、その上でケア内容を考える。心理面を考えることで本人本位になれると思います。	カンファレンス等で状況に変化のある方の対応の話は出来ているので、話し合いの最初に心理面の話をするようにする。カンファレンス、ショートカンファレンス、モニタリング等)	6ヶ月
2	18	「入居者」「職員」という立場に双方がなっている。特に職員は「私たちは介護する側」という気持ち、もしくは「仕事」という意識があるのだと思います。お互いを尊重している関係にはなれていない	入居者様は認知症もあり、意識を変えるのは難しい。職員は意識を変えられる。まずは入居者様に受け入れてもらえる接遇を身につける。	カンファレンスで「接遇」「人権の尊重」の勉強会を行い、理解を深める。日々の業務の中でも見直しをしていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。